



カウンターテナー
藤木 大地

Official Website
www.daichifujiki.com

©hiromasa

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン《メデア》へロルドで鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてオーストリア代表として2年連続で選出、世界大会でファイナリストとなり、ハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ボローニャ歌劇場にてグルック《クレリアの勝利》マンニオに抜擢されてヨーロッパデビュー。国際的に高い評価を得る。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルが常に絶賛され、全国からのオファーが絶えない。

2017年、ファーストアルバム「死んだ男の残したものは」(キングインターナショナル)をリリース。2018年には、村上春樹原作の映画「ハナレイ・ベイ」の主題歌を担当、同時にメジャー・デビュー・アルバム「愛のよろこびは」(ワーナーミュージック・ジャパン)を発表。2020年、東京文化会館にて企画原案・主演をつとめた新作歌劇『400歳のカストラート』が大成功をおさめた。また、新国立劇場2020/21シーズン開幕公演 ブリテン《夏の夜の夢》にオーベロンで主演、続けてバッハ・コレギウム・ジャパンとのヘンデル《リナルド》でもタイトルロールを務め、その圧倒的な存在感と唯一無二の美声で聴衆を魅了し、オペラ歌手としての人気を不動のものにする。2021年、3枚目のアルバム「いのちのうた」(キングインターナショナル)がリリース。2022年から自身がプロデューサーを務めた横浜みなとみらいホールで、オーケストラ公演や室内楽公演を次々と企画。全国各地の劇場との連携事業や学生と共に創りあげる新作音楽劇を成功へ導くなど、その手腕に注目を集めている。

2025年は東京・春・音楽祭での《にほんの歌》vol.1、ローム ミュージック フェスティバル J.シュトラウス二世《こうもり》オルロフスキー公爵をはじめ、各地でのリサイタルやオペラ公演に出演予定。デビューから現在まで絶えず話題の中心に存在する、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。

洗足学園音楽大学客員教授。横浜みなとみらいホール初代プロデューサー(2021-2023)。

2024年度より大和高田さざんかホール レジデント・アーティスト。



作曲家・ピアニスト
加羽沢 美濃

Official Website
www.kabasawamino.com/

東京藝術大学大学院在学中、1997年に日本コロムビアからCDデビュー。2022年にデビュー25周年を迎えた。

東京佼成ウィンドオーケストラ、徳永二男氏(ヴァイオリニスト)、向山佳絵子氏(チェリスト)をはじめとするトッププレーヤーからの委嘱依頼に応え、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽などの作品を発表しているほか、器楽奏者や声楽家、ポップス演奏家のための作編曲も行っている。

テレビドラマ『愛と青春の宝塚』『松本清張没後20年特別企画 ドラマスペシャル 波の塔』、映画『チルソクの夏』『四日間の奇蹟』『出口のない海』『獄に咲く花』『日輪の遺産』『指輪をはめたい』『ツレがうつになりまして。』『ライアの祈り』、舞台『黒部の太陽』など幅広いジャンルの音楽を手掛け好評を得る。

活動の場は多岐にわたり、テレビやラジオ番組に数多く出演。『題名のない音楽会』『名曲リサイタル』『らら♪クラシック』では司会を務めた。作曲家の視点からクラシックをわかりやすく解説するレクチャーコンサートや、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションコンサートなどを主宰し好評を博している。

2025年4月から7月には、ヴァイオリニスト高嶋ちさ子とのユニット“Chisa&Mino”による「高嶋ちさ子&加羽沢美濃 ゆかいな音楽会～」の春ツアーが決定しており、福島公演を皮切りに、全国各地でコンサートを開催する。

[令和7年]

2025

7.27日

開場13:30
開演14:00

小郡市文化会館 大ホール

入場料

全席指定 3,500円(税込)

※当日は500円増 ※未就学児入場不可

文化事業協会主催のため
特別料金となっております

発売日

4月20日(日)～ ※電話予約は13:00～

チケット
取扱所

- 小郡市文化会館
- ローソンチケットLコード(83900)

[主催] 小郡市文化事業協会・小郡市・小郡市教育委員会

[協力] メロディー音楽企画

問合せ先: 小郡市文化会館 TEL0942-72-3737

大ホール座席表

